



西村証券

チーフストラテジスト  
門司総一郎の

# ウィークリーレポート

2021年  
4月16日  
発行

第84回

「バイデン大統領の対中政策」

## ～資源株に注目～

### 初めに

前回に続いてバイデン大統領の政策を取り上げます。今回は対中政策です。中国に対して融和路線を採ったオバマ政権で副大統領を務めたことからトランプ政権に比べて米中関係は落ち着くとの見方もあったようですが、ふたを開けてみれば大違い。中国に積極的に圧力をかけています。

### 対中包囲網の構築

トランプ氏の対中政策は貿易など経済面が中心でしたが、バイデン氏の対中政策は安全保障が中心です。早速、バイデン氏は対中包囲網の構築に乗り出します。3月16日にはブリンケン米国務長官とオースティン米国防長官が来日し、2プラス2（外務大臣・防衛大臣担当閣僚会議）を開催しました。この会議の席上で米国側は、日本との同盟を重視する考えを「繰り返し強調した」（3/17付読売新聞）とのことです。更に3月12日にはインド、豪州を加えた4か国(クアッド)による首脳会合がオンラインで開催されました。今後、インド・太平洋地域においてはこの4か国が連携して、中国に対抗することになる見込みです。

### 安保、経済、両にらみで

包囲網を作るといっても、好んでことを構える訳ではありません。いずれの国にとっても中国は重要な貿易相手国です。経済については各国とも是々非々で中国とつきあうことになるでしょう。一方、比較的利害の対立が少ないと思われる環境分野などでは協働することもありそうです。

### 日独2プラス2

中国を警戒する動きは欧州にも及んでいます。最近欧州主要国がインド洋や南太平洋に軍艦を送る例が増えていますが、その中でドイツはリモートで日本と2プラス2を開催し、インド太平洋の安全保障で連携していくことを確認しました。このドイツの動きには安全保障に加えて、欧州が重視する人権問題がある、と指摘されています。

### 日米首脳会談

こうした中、4月16日には菅首相、バイデン大統領ともに初となる日米首脳会談が予定されています。安全保障のほか、気候変動への対応、第三国のインフラ整備における協力、AIや量子など先端技術分野での協力などについて共同文書の作成が予定されていますが、テーマのほとんどは如何にして中国に対峙していくかというものであり、日米間の懸案事項といったものは特になさそうです。

### 地政学リスクと株式市場

このように、中国の進出により東アジアから東南アジアにかけての地域では地政学リスクが高まっています。また、ウクライナ東部ではロシアが兵力を増強、緊張が高まっているようです。こうした状況が長引けば、インフレ懸念から資源株などがさらに買われることもありそうです。

西村証券株式会社 NISHIMURA SECURITIES Co., Ltd.  
京都市下京区四条通高倉西入立売西町65番地(本社)  
TEL:075-221-9390(本店営業部)

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第26号  
加入協会:日本証券業協会 主な事業:金融商品取引業  
指定紛争解決機関:特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

本書面は特定の金融商品の勧誘を目的として作成したのではなく、あくまで情報提供を目的とした書類です。書面上の株式市場見通し等は、本書面作成時の当社予想ですが、その後の市場動向・結果・影響等について当社が保証または責任を負うものではありません。また内容については予告なしに変更される場合もあります。本書面の著作権は当社に帰属します。当社の文章による承諾なしに、第三者への配布・コピー等はご遠慮ください。